

草の根活動 交流NEWS

第721号
2024年 12月17日
会員数 158万 3397人
読者数 4646人

消費税をなくす全国の会
〒114-0023
東京都北区滝野川3-3-1-201
電話03-3940-0401
FAX03-3949-9885
Eメール snzk90@horae.dti.ne.jp

自公過半数割れ 消費税減税・インボイス廃止に声を上げよう！

消費税が導入されてから35年余。会報「ノー消費税」が400号を迎えました。この間、3度の消費税引き上げとインボイス制度の導入が強行され、庶民の暮らしは物価高に悲鳴を上げるなか、24年度の消費税収入は過去最高を更新する見通しに。衆議院選挙で自民・公明与党を過半数われに追い込んだ今こそ、消費税減税・インボイス廃止に向けて声を上げ、政治を変えていきましょう。

「生きていうちに消費税下げて」 三重の会

11月25日、桑名駅前で10人の参加で署名宣伝行動。10人から署名。20代の男性は「付き合っている女性がいるが、生活費が高く、結婚することを考えてしまう」と署名。80代の男性は「生きていうちに消費税を下げてほしい」と話がはずみ署名。

津市でも各界連と4人の参加で署名宣伝行動。「野党が一致すれば今すぐにでも消費税減税は実現できます」と訴えて4人から署名。



「消費税何とかして」 京都の会

11月23日、山科ラクト前で11人の参加で署名宣伝行動。12人から署名。道行く人が「この物価高で私たちがどうやって過ごしていると思っているのや！」「物価高のなかで少ない年金だけの生活なので、本当に苦しい。消費税を何とかしてほしい」との悲鳴や怒りの声。激励とともに署名をしてくれる人も。宣伝行動を、週間新聞京都民報が取材し、宣伝の様子と2025年新年号に掲載する写真も撮られました。

「消費税、早くなくなつて」 東京・六郷の会

12月8日、雑色駅前で15人の参加で署名宣伝行動。チラシ100枚配布して、14人から署名。街行く人は「なんでもかんでも上がっていて、早く消費税はなくなつてもらわないとダメ」「なんで物価だけ上がって…私たちの生活だって大変。物価を下げて、年金増やして」と署名。

「消費税減税の方が助かる」 福島の会

福島の会は25日、市内で各界連とシール投票と署名宣伝行動。シールを貼った学生は「物価高はいつまで続くのか。我慢も限界。消費税を下げてほしい」と。「今のままでいい」という項目に貼った学生も「できるなら下げてほしいけれど、財源をどうするかと言われるとしょうがないなあ」と話していました。70代の女性は「103万円より消費税減税の方が助かる。頑張つて！」と署名。

郡山の会は24日、郡山駅前で5人の参加で署名宣伝行動。「本当にご苦労様です。頑張つて下さい」との激励もあり12人から署名。

「なんとかしてや」 高知県の会

11月25日、中央公園北口で各界連と一緒に6人の参加で署名宣伝行動。「消費税を、まず、5%に下げさせましょう」の訴えに「そうじゃね」「現実にならぬ」といいね。なんとかしてや」など対話になり、16人から署名。

「米も値上がって大変」 青森市の会

12月21日、青森市内の商店街で各界連と署名宣伝行動。「国民の声で要求実現できる時。署名を届けて政治を動かしましょう」との訴えに、足を止めた女性から「消費税は本当に社会保障の財源に使われているのか」と質問があり、戦闘機の爆買いや軍事費について対話がはずみました。買い物中の女性が「食料品に加え、米も値上がりして大変」と署名。

「消費税は下げて」 富山県の会

11月25日、総曲輪商店街で「消費税を5%に戻せ」の横断幕やのぼりを掲げ、ティッシュも配って署名宣伝行動。60代女性は「物価が上がって生活が大変。消費税を下げてほしい」と署名。50代女性も野党が協力して、ただちに消費税を下げてほしい」と署名。

